

学習指導要領		都立新宿山吹高校 学カスタンダード
<p>(1) 青年期</p>	<p>(1) 青年期の課題と人間としての在り方生き方 自己の生きる課題とのかかわりにおいて、青年期の意義と課題を理解させるとともに、先哲の基本的な考え方を手掛かりとして、人間の存在や価値について思索を深めさせる。</p> <p>ア 青年期の課題と自己形成 自らの体験や悩みを振り返ることを通して、青年期の意義と課題を理解させ、豊かな自己形成に向けて、他者と共に生きる自己の生き方について考えさせる。</p>	<p>「青年期における自己形成」「人間としての在り方生き方」について理解と思索を深めさせることが、それぞれ別のものではないことを理解する。</p> <p>ルソーの『エミール』みられるように「青年の発見」「第二の誕生」といった概念から青年期の特質や論理を理解する。</p> <p>ミードの「一般化された他者」としての自我の形成過程や構造を理解する。また、「脱中心化」(ピアジェ)やレヴィンの「境界人」についても自己の問題として考察する。</p>
<p>(2) 人間と倫理</p>	<p>イ 人間としての自覚 人生における哲学、宗教、芸術のもつ意義などについて理解させ、人間の存在や価値にかかわる基本的な課題を探究させることを通して、人間としての在り方生き方について考えを深めさせる</p>	<p>また「自己形成の課題」を自覚することは、青年期における「人間としての在り方生き方」を探究することでもあることを認識する。内容として前半は心理学的見地からエリクソンやマズローの欲求段階説などについて理解を深める。</p> <p>古代ギリシアの哲学、具体的には、神話にはじまり、そこから、タレス、ピタゴラス、デモクリトスといった自然哲学の中にある科学的精神、合理主義を考察する。さらにソクラテス、プラトン、アリストテレスといった哲学者の思想を生徒の課題とかかわり付けながら、分かりやすく説明する。具体的に、「無知の知」、「汝自身を知れ」、あるいはプラトンのイデア論、アリストテレスの中庸といった概念について理解させるとともに考察させる。</p>

学習指導要領	都立新宿山吹高校 学カスタンダード
	<p>ユダヤ教から、キリスト教の成立の経緯を考察し、一神教の思想を理解する。聖書の言葉を吟味することによりその本質を理解する。</p> <p>原始仏教の誕生とそこにおける世界観をブッタの「悟り」「煩惱」および八正道といった哲学を学ぶと共にその後の仏教の展開について考察する。</p> <p>中国における諸子百家の思想を特に儒教や道家の理想を理解するとともに、東洋思想の基本的性格や西洋との相違を自然観・世界観を通して理解する。</p> <p>ギリシャの合理主義とキリスト教の信仰の融合と体系化を目指してアウグスティヌスやトマス・アクィナスといった教父哲学を通して西洋の精神・文化の在り方を理解する。</p> <p>具体的には、中国からの朱子学、陽明学、『四書五経』について考察する。そこから、我が国におこる儒教の転回、具体的な伊藤仁斎、荻生徂徠、林羅山の思想や神仏習合の思想について生徒の課題とかかわり付けながら、理解を深める。</p> <p>デカルトやベーコンの思想を通して西洋の科学的精神の萌芽を理解する。また演繹法、帰納法といった方法論についても考察する。</p>

学習指導要領		都立新宿山吹高校 学カスタンダード
<p>(2) 現代と倫理</p> <p>現代に生きる人間の倫理的な課題について思索を深めさせ、自己の生き方の確立を促すとともに、よりよい国家・社会を形成し、国際社会に主体的に貢献しようとする人間としての在り方生き方について自覚を深めさせる。</p> <p>ア 現代の諸課題と倫理</p> <p>生命、環境、家族・地域社会、情報社会、世界の様々な文化の理解、人類の福祉のそれぞれにおける倫理的課題を、自己の課題とつなげて追究させ、現代に生きる人間としての在り方生き方について自覚を深めさせる。</p>	<p>近代に入ってから福沢諭吉らの「啓蒙思想家」の思想・考えを理解させ、現代の西洋思想の「洗礼」を受けてからの日本人としての在り方生き方について自覚を深めさせる。今後、世界を席卷すると思わるグローバリズムの中で、日本人としての「和魂」の在り方について考える。</p> <p>家庭、地域の変容について具体的なデータをあげつつ現代における人間の道徳、倫理の問題について言及する。</p>	